

つくば市議会副議長

小森谷さやか

つくば・市民ネットワーク
こもりやさ

活動レポート②



こもりやさやかのページ



instagram



X



市民ネットHP

↑活動レポート①は
こちらで見られます

アンケートにご協力
お願いします! →



POINT

ここが違う☆市民ネットの議員



原則2期8年、最長でも3期12年で

次の人へバトンタッチします

固定化しがちな関係を防ぎ、市民目線での追及と提案をし続けます



議員報酬の約半分を寄付し*市民活動を進めます

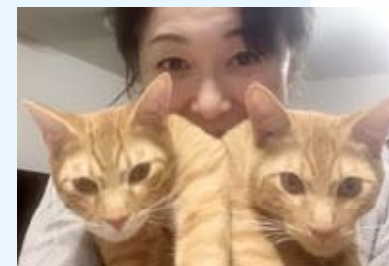
市民ネットが目指す政策実現のための調査活動や学習会開催、
活動報告等に使用します *政治資金規正法を遵守しています



独立した地域の政治団体です

上位組織はありません。平場で話し合っ方針を決めています

小森谷さやかプロフィール profile



新しい家族が増えました!
保護猫の兄弟です
(寅女と虎猫たち)

- 1974年 群馬県前橋市に生まれる
- 1993年 群馬県立前橋女子高等学校卒業
- 1993年 富山医科薬科大学薬学部入学
- 1997年 製薬メーカーMR(営業)として就職
- 2004年 メーカー退職、調剤薬局の薬剤師を始める
- 2007年 つくば市に転居
- 2011年 3.11をきっかけに市民活動始める
- 2014年 つくば・市民ネットワーク運営委員に
- 2016年 つくば市議会議員に初当選
- 現在 つくば市議会副議長、総務文教委員会委員等
(家族は夫と息子2人と猫2匹)



つくば・市民ネットワーク

Tel&Fax:029-859-0264
つくば市二の宮2-1-3クラブビル1F

tsukubahotnet@ybb.ne.jp https://tsukuba-net.jp

子ども children



自校式給食
まずは1校で実施へ!

- ★ できたての美味しい給食 & 子どもと調理員さんの顔の見える関係は食育にもなる♪
- ★ 配送不要なので調理に時間をかけられ、加工品が減らせる♪
- ★ 少量生産の地元農家さんも納入できる♪
- ★ 災害時にも調理施設を活用できる♪

市民ネットが設立以来20年間要望してきた自校式給食が実現間近です!私は「つくば市学校給食の在り方懇談会」の座長として今回の計画案策定のきっかけのひとつとなる提言をまとめました。まずはパイロット校(荃崎二小)で実施、評価を行い、順次広がっていくようにこれからも働きかけていきます。

みどりのに温水プールが完成しました!

温水プールをつくり、複数の学校で使用するだけでなく空いた時間を市民に開放することを提案、実現しました! **確実にプール指導の時間が確保でき、学校の管理コストを下げるだけでなく、市民の健康増進に寄与します。**



みどりのプール



提供:つくば市
コミュニティ棟キッズスペース

みどりのプールや
研究学園小中学校、
市役所コミュニティ棟に
市民スペースを
要望し、実現!



子どもの健康づくりが急務!

昨今、小中学生の体力・視力が著しく低下しています。GIGAスクール構想が進められていますが、**デジタル一辺倒にならぬよう、手と体を動かす機会の確保**をこれからも訴えていきます。

暮らし life

マイクロプラスチックの流出対策に着手!

人工芝の破片は最終的には河川や海に流れマイクロプラスチックとなります。流出対策の必要性を訴え、一部テニスコート等で**フィルター設置の対応が実現**しました。

進めています!バリアフリーへの取り組み!

バリアフリーマスタープランの策定委員として、様々な障害当事者が参加する必要性を訴え実現しました。現在、公共施設の新設・改修時に**バリアフリーの視点を必ず入れるためのガイドライン**を策定中です。

研究学園駅周辺に交流センターを!

研究学園駅周辺住民の強い要望である交流センター設置は何度も要望してきました。引き続き取り組んでいきますが、地元で活動する皆さんと要望した、研究学園駅前公園の古民家(つくばスタイル館)の**開館時間の延長&備品の充実**は実現しそうです!



つくばスタイル館

げんきもりもり こもりやさやか です。



健康 health



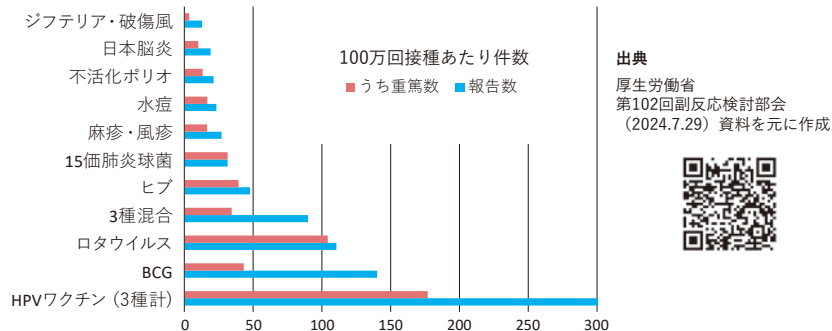
ワクチン事業に対する取り組み

ワクチン事業は、薬剤師の小森谷にとって、とても気になる分野です。

私は自分の息子たちに普通に予防接種をしてきた母親ですが、HPVワクチンの被害を訴えている若い女性たちに出会い、このワクチンのことをいろいろ勉強しました。

- HPVワクチンの副反応疑い報告は他のワクチンに比べて何倍も多い
- 症状が重い人では激しい苦痛を伴う症状が多岐にわたって出現するが、今までのワクチンでは見られなかった症状のためか、医師に副反応を疑ってもらえないことが多く、治療法の研究も進んでいない

HPVワクチンと他の主な定期接種ワクチンの副反応疑い報告頻度比較



さらに、被害を訴えても通常の検査では分からないため「精神的なもの」と治療を受けられず、家庭や育て方に原因があるような言われ方をするなど、二重三重に苦しんでいることも知りました。

- 定期接種であるHPVワクチンは市町村が実施主体です。そこで、
 - 起こり得るリスクについても情報提供すること
- ワクチン接種後に体調不良が起きた場合の相談窓口の拡充を市に求めてきました。
- コロナ禍ではワクチンハラスメントの防止や、コロナワクチンの子どもへの接種は慎重であるべき、と訴えてきました。
- これからも、**リスクの情報も併せた情報提供の在り方や、健康被害を受けた場合の相談窓口・支援の充実**を訴えていきます!



香害・化学物質過敏症について、さらに取り組みを進めています!

学校等での啓発チラシの配布・ポスター掲示が実現しています。今年はそこから一歩進んで、**香害を始めとする化学物質過敏症のアンケート調査**を小中学校対象に実施することとなりました。

← 化学物質過敏症の啓発ポスターの例



小森谷さやかさんの活動レポート第2弾です!
私はつくば・市民ネットワーク市議4人のうちの1人として活動しています。市民の皆さんからいただく意見や市民活動の実践で得た情報、また困りごとの相談を通して、行政支援のたくさんの方の改善点が見えてきます。それらの声を届け、つくばをもっと「住みよいまち」にするため、議会でも要望・提案をしてみました。
このレポートでは、議員活動8年の中で私が実現に向かって取り組んだ主なテーマについて報告します。